

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	75	豊田市立 敷島小 学校	代表	川原千恵子
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域の恵みにかかわり、未来へ夢をつなぐ子どもたち	分野	b	地域連携
	サブテーマ 「ふるさと あさひの恵み」を生かし、見つめ、学び、働きかける	if(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の恵み（自然・地域住民の知恵・地域の文化・地域の伝統芸能など）を学びの対象として、問題解決型の学習や体験学習などを推進することにより、三つの力（見つめる力・学ぶ力・働きかける力）を育てる。 ・学校の教育活動全体を通して、三つの力を育成する活動を継続して展開することにより、地域への理解が広がり、地域に誇りを感じ、愛着を深める児童を育成する。 ・学校図書館司書の活用を通して、読み聞かせや図書館利用指導を行い、進んで本に親しみ、豊かな心をもつ児童を育てる。 			
活動内容・計画	<p>1 「見つめる力」を育てる場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷島っ子アドベンチャー：全校縦割り班（6班）で地域の自然に触れ合う活動を計画し、地域の方のサポートを得て活動することで、自然を大切にしたい心や地域の良さを感じる心を育む。 <p>2 「学ぶ力」を育てる場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科や総合的な学習の時間：「しきしまの恵み」を題材として、「見つめる、学ぶ、働きかける」場面を含んだ問題解決型の学習を計画し実践する。 ・各学年のプロジェクト：1年（しきしまのおたからを見つけよう）・2年（はっけん！旭地区の〇〇名人！）・3年（旭の昔発見隊）4年（じいじばあばHAPPYプロジェクト）・5年（敷島の動物調べ隊）・6年（旭の森林調査隊）・さくら（飼育と野菜栽培） ・地域に伝わる郷土伝統芸能（敷島子ども棒の手）の継承活動を行い、その成果を運動会や学習発表会で発表する。 <p>3 「働きかける力」を育てる場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動：4つの委員会（生活委員会、健康委員会、図書委員会、放送委員会）で主体的・積極的に活動する。 ・資源回収：古新聞、古雑誌、古布、アルミ缶等の回収を行う。（PTAや地域と協力して実施） ・地域行事への積極的な参加：地域の夏祭り、自治区次世代育成部会のイベントに積極的に参加する。 ・環境美化：保護者とともに校地内を美しくする。 <p>4 教育交流（相手校：挙母小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる合同授業「学区や地域の紹介」「意見交流会～未来の豊田を考えよう～」「道徳授業」を行う。（4年） ・山間地の本校と都市部の挙母小学校の児童がオンラインを通じて豊田市内の他地域を知り、多様な考え方を認め合う場とする。 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書 ・校内整備員 			
実績・期待される効果	<p>1 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習を通して、地域の恵みにかかわり、地域への理解を広げ、愛着を深めている。 ・40年間続く「敷島子ども棒の手」の継承活動に、地域講師の支援をいただき指導を進めることで、地域を愛する気持ちや誇りに思う気持ちが高まっている。 ・縦割り班の活用により、異学年とのかかわりが強くなり、教え合い学び合いながら相互に思いやる心や態度が育っている。 ・学習の様子や成果をタ様子イムリーに学校ホームページに載せたり、定期的に学校だよりを発行したりして保護者や地域の人々から理解を得ている。 ・挙母小との教育交流事業によりオンライン授業を活用して大人数の中での授業に参加することができ、子どもたちにとってよい刺激となっている。 <p>2 期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科や総合的な学習の時間に自ら課題を見つけ、解決に向けた方法を工夫し、粘り強く追究したことを学習発表会で発表できる。 ・自然やまわりの人々に対して優しい気持ちをもって接することができる。 ・自治区や地域を学習対象とすることで、故郷に愛着をもち、学習意欲を高めることができる。 ・地域講師の活用により地域に対する理解が深まり、学校と地域との連携が確かなものとなる。 ・豊田市の他地域を理解し、豊田市の未来を語り合うことでキャリア教育やSDGsの推進に役立てることができる。 ・保護者アンケートや学校自己評価から、本校の特色ある学校づくり推進事業への理解と賛同の状況の把握が期待できる。 ・校内整備員の配置により、運動場や校地の環境整備の充実が期待できる。 ・司書の配置により、図書館の環境が整ったり、司書と交流することで本に対する興味・関心が高まったりすることが期待できる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートや学校自己評価から、本校の特色ある学校づくり推進事業への理解と賛同の状況の把握 ・学校運営協議会の感想や意見から、子どもたちの学びの様子や地域からの理解度を確認 ・校内整備員により運動場および校地の整備による事故数の減少、児童の活動の活性化、職員による作業の負担の軽減の程度 ・学校図書館司書により図書館利用者数、一人当たりの貸し出し冊数、月別貸出冊数、学年別貸出冊数、読書好きな児童の増加数 			